

令和5年度事業報告書

〔 自 令和5年4月 1日
至 令和6年3月31日 〕

公益財団法人 教科書研究センター

1. 教科書図書館の設置・運営

(1) 教科書図書館の在り方に関する検討

情報技術の著しい進展やデジタル教科書の発行、新型コロナウイルス感染症の流行など図書館を巡る環境も大きく変化していることから、研究機関附属施設である専門図書館としての今後の在り方について、委員会を設置し検討を行った。

(2) 令和5年度使用教科書等の受け入れ

各教科書発行者より、令和5年度使用開始高等学校教科書及び教師用指導書について1,601件の寄贈を受けた。

(3) 教科書検定通年公開のための常設展示場の設置

令和6年度から使用される小学校及び高等学校教科書の検定に係る申請図書、見本本等に関する資料を展示公開した。

(4) 教科書等の収集・整理・保管及び教科書図書館の運営

戦前からの小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の教科書および教師用指導書、並びにこれらに関連する図書、外国の教科書、その他教育研究資料等を収集、整理、保管し、教科書発行者や教科書関係者等の利用に供した。

(開館日…年末年始及び休日を除く月・火・水曜日。)

① 資料の受入れ (令和5年4月～令和6年3月)

・教科書	557件
・指導書	1,064件
・副読本	0件
・外国教科書	282件
・教育・研究資料	51件
小計	1,954件
(開館以来累計)	156,244件

② 図書館利用状況 (令和5年4月～令和6年3月)

・開館日	146日
・閲覧者	1,943人 (1日平均13.3人)
・複写 (カラー、マイクロフィッシュを含む)	1,217件 / 49,521枚
・写真・動画撮影	204件 / 7,920カット

(参考) 利用者内訳

年度 区分	令和5年度	令和4年度
教科書発行者	76人 (3.9%)	70人 (4.0%)
小中高教員	164人 (8.4%)	207人 (11.8%)
学 生	778人 (40.0%)	587人 (33.4%)
研 究 者	347人 (17.9%)	384人 (21.9%)
出版放送関係	151人 (7.8%)	65人 (3.7%)
その他一般	427人 (22.0%)	444人 (25.2%)
計	1,943人	1,757人

③ 教科書等 PDF 化作業

現在および今後の図書館資料の劣化、破損等を考慮し、古い教科書から順次 PDF 化作業を実施した。

- ・令和5年4月～6月 教科書 148冊 指導書 167冊

④ 外国教科書等の受贈・寄贈

ア. 受贈図書

康軒文教事業股份有限公司（台湾）より小学校教科書 16冊を受贈。

イ. 寄贈図書

外国教科書相互交換として、國家教育研究院教科書發展中心教科書圖書館（台湾）、康軒文教事業股份有限公司（台湾）、人民教育出版社（中国）、社團法人韓國檢認定教科書協會（韓国）、韓國教科書研究財団（韓国）の5団体それぞれに、令和5年度使用高等学校教科書のうち主要教科 37冊を寄贈。

⑤ 外国教科書の取扱い

平成29年度モラロジー研究所から寄贈された外国教科書（97か国約6,700冊）の受け入れを引き続き進めた。

(5) インターンシップ受入れ

本年度は希望がなかったため受け入れを行わなかった。

2. 教科書等に関する調査研究

(1) 調査研究

① 授業における教科書の使い方に関する調査研究

「プレ研究」(平成 30～令和元年度)の成果を踏まえ、「本研究」(令和 2～5 年度の 4 年計画→新型コロナウイルスのため 1 年延長)の最終年次として、主に中学校の教科書を対象に、教科書発行者の編集意図の把握、新学習指導要領の新しい教科書への反映状況などについて、教科別等部会を開催し調査研究を進めた。「“新しい”教科書の使い方—よりよい授業づくりのために—(中学校)」を刊行し、全国の中学校へ配布した。また本研究のまとめとして「研究成果報告書」を刊行した。

② デジタル教科書に関する調査研究

「プレ研究」(平成 30～令和元年度)の成果を踏まえ、「本研究」(令和 2～5 年度の 4 年計画→新型コロナウイルスのため 1 年延長)の最終年次として、主に中学校の授業実践等を通じて活用事例を抽出し、教科別等部会を開催し調査研究を進めた。また韓国を訪問し、デジタル教科書を活用した小学校の授業見学、教員へのヒアリングを行った。「すぐに使える学習者用デジタル教科書活用事例集(中学校編)」を刊行した。

③ 海外教科書情報に関する調査研究

ア. 海外教科書情報研究

諸外国の教科書事情に関する調査研究の成果(令和 2 年 3 月 31 日付報告書公表)の対象国の拡大やその内容を恒常的にアップ・ツー・デートする体制を整備し、ホームページ上で成果の公表を行った。

イ. 個別最適な学びと教科書の在り方に関する国際比較調査～諸外国におけるデジタル教科書の政策と実相

諸外国のデジタル教科書事情に関する調査の第一弾として、エストニアを訪問し、デジタル教科書を発行している会社及び教育省へのインタビュー、義務教育学校でのデジタル教科書の使用状況などを調査した。

(2) 委託研究

① デジタル教科書の活用実態の把握と分析に基づく次世代の授業づくりに関する研究

学校訪問等を通して、デジタル教科書の活用実態の把握と分析を行い、子供を主体とした次世代の授業づくりにおいて必要となるデジタル教科書の機能等を調査した。

② 「“新しい”教科書の使い方」の活用に向けた提案に関する調査研究

当センターで作成した「“新しい”教科書の使い方」について、教員に閲読を依頼し改善点等について聴取するとともに、教員養成課程の学生に小冊子を用いた授業実践を行い学生の意識の変化を調査分析した。

③ 教員養成大学と連携した調査研究

愛知・大阪・兵庫・鳴門の4つの教員養成大学と連携し、外国語の学習者用デジタル教科書の効果的な活用方法と授業改善、教員研修プログラムの開発、デジタル教科書の機能や内容の改善などに関する調査研究を実施した。

④ 教育委員会と連携した調査研究

岩手県二戸市と連携し、学習者用デジタル教科書(算数・数学、外国語)と当センターの研究成果物を活用して、個別最適な学びと協働的な学びの実現に向け、授業と教科書の改善等に係る実証的な調査研究を行った。

⑤ 教科書研究センターの研究成果物を教材とした大学・大学院のシラバス開発と授業実践に関する研究—国語科教職課程関連科目を中心として—

「授業における教科書の使い方に関する調査研究」国語部会委員を中心としたメンバーで、教職課程において、「“新しい”教科書の使い方—よりよい授業づくりのために—(小学校)(中学校)」を教材とした来年度以降のシラバス開発を提案した。

(3) 研究助成

① 大学院生の教科書に関する研究論文作成に対する助成

修士又は博士課程に在学する大学院生の教科書に関する論文作成に対する助成(9回目)を実施した。23件の応募があり、教科書研究センター調査研究企画委員会の審査を経て、11件(1件当たり10万円)を採択した。

② 若手研究者に対する教科書研究助成

令和4年度採択者を対象としたスタートアップミーティングを開催した。

令和5年度の募集には20件の応募があり、教科書研究センター調査研究企画委員会及び個別審査・総合審査を経て、8件(1件当たり25万円以内)を採択した。

令和4年度採択者5名から論文が提出された。

3. 教科書に関する研修・普及・広報事業

(1) 研究成果の作成・配布

- ① “新しい”教科書の使い方（中学校）－よりよい授業づくりのために－（令和5年8月）
- ② 授業における教科書の使い方に関する調査研究 研究成果報告書（令和6年1月）
- ③ 令和4年度 大学院生の教科書研究論文助成金論文集（令和6年1月）
- ④ すぐに使える学習者用デジタル教科書活用事例集（中学校編）（令和6年3月）

(2) 「センター通信」の発行

「センター通信」No.128（令和5年4月）、No.129（令和5年10月）、No.130（令和6年1月）を発行し、教科書発行会社・教育関係機関に配布した。（1,500部）

※No.130 令和4年度大学院生教科書研究論文助成特集

(3) 教科書関係者に対するセミナーの実施

- ① テーマ 「授業における国語教科書の使い方に関する調査研究
－授業実践の参与観察とインタビューを通して－」
 - ・講師 松本修氏（玉川大学大学院教育学研究科教授）外4名
 - ・日時 令和5年8月9日
 - ・場所 教科書研究センター5階 第4会議室
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約60名

- ② テーマ 「令和5年度 鳴門教育大学 小学校英語教育センターシンポジウム
言語活動を通して資質・能力を育成する小学校外国語教育の授業の
在り方について考える～ ICTの効果的な活用を通して～」
 - ・講師 直山木綿子氏（文部科学省初等中等教育局視学官、鳴門教育大学客員教授）外2名
 - ・日時 令和5年10月14日
 - ・場所 鳴門教育大学総合学生支援棟3階 F会議室
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約200名

- ③ テーマ 「デジタル教科書に関する調査研究委員会 韓国調査報告
－韓国視察を視野に入れたデジタル教科書活用の現状と展望－」
 - ・講師 中川一史氏（放送大学教授）外3名
 - ・日時 令和6年2月29日
 - ・場所 教科書研究センター4階 第2会議室
 - ・参加者 対面・オンライン参加者 約100名

(4) 全日本教育工学研究協議会全国大会(青森大会)ブース出展

令和5年10月27日～28日に、青森県三沢市公会堂で開催された第49回全日本教育工学研究協議会に参加し、ブースの出展とワークショップを開催した。ワークショップ「デジタル教科書の新たな可能性を探るー複線型の授業における活用を通じてー」では佐藤和紀氏(信州大学准教授)と三井一希氏(山梨大学准教授)が講師を務めた。

(5) 山梨県立図書館にてワークショップ開催

令和5年12月2日に「デジタル教科書に関する研究会 これからの学びとデジタル教科書を考えるワークショップ」を開催した。佐藤和紀氏(信州大学准教授)、三井一希氏(山梨大学准教授)、大久保紀一郎氏(京都教育大学講師)が講師を務めた。

4. その他

(1) 教科書研究センター施設利用規則に基づき施設の一部を事務室及び会議室として次のとおり貸付を行った。

ア. 家屋貸付

使用団体名	使用面積	賃借料月額
	m ²	千円
教科書協会	132	196
全国教科書供給協会	111	164
教科書著作権協会	72	106
計	315	466

イ. 会議室等貸付

会議室名	使用時間	
	時間数	日数
第1会議室	0時間	0日
第2会議室	48時間	0日
第4会議室	129時間	15日
第5会議室	31時間	0日
調査相談室	55時間	0日

5. 賛助会員名簿

一般

令和6年3月現在

会員名	会員名	会員名
王子製紙(株) (株)教育新聞社 教科書販売(株) 新生紙パルプ商事(株) (一社)全国教科書供給協会 ダイニック(株) 大日本印刷(株) (株)中央本社 artience(株)	(株)トーハン 凸版印刷(株) 新村印刷(株) (株)日教販 日本紙通商(株) (株)日本教育新聞社 日本出版販売(株) 日本製紙(株) (株)文理	明治図書出版(株) (株)リーブルテック

(計20社)

教科書発行者

令和6年3月現在

会員名	会員名	会員名
東京書籍(株) 大日本図書(株) 実教出版(株) 開隆堂出版(株) 学校図書(株) (株)三省堂 教育出版(株) (株)教育芸術社 (株)清水書院	光村図書出版(株) (株)帝国書院 (株)大修館書店 (株)新興出版社啓林館 (株)山川出版社 (株)音楽之友社 数研出版(株) 日本文教出版(株) (株)明治書院	(株)二宮書店 (株)第一学習社 (株)桐原書店

(計21社)

6. 附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」は、特になし。

◎処務の概要

1. 役員等に関する事項

(1) 理事、監事名簿

任期 (自 令和3年6月22日
至 令和4年度に関する定時評議員会
(令和5年6月20日) 終結時)

○印：資金運用委員会委員

役職名	氏名	現職名	資金
理事長	常田 寛	元・光村図書出版(株)代表取締役社長	○
副理事長	清水 潔	弁護士 (TMI 総合法律事務所)	○
* 常務理事	辰野 裕一	(公財)教科書研究センター常務理事 (資金運用執行責任者)	○
〃	白間 竜一郎	(公財)教科書研究センター常務理事 (資金運用執行責任者)	○
理事	赤堀 侃司	東京工業大学名誉教授・(一社)ICT CONNECT 21 会長	
〃	石島 美也子	弁護士 (石島法律事務所所長)	
〃	伊東 千尋	教育出版(株)代表取締役社長	
〃	小川 正人	東京大学名誉教授・放送大学特任教授・兵庫教育大学客員教授	
〃	小田 良次	実教出版(株)代表取締役社長	
〃	岸田 和明	慶應義塾大学文学部教授	
〃	佐々木 秀樹	日本文教出版(株)代表取締役社長	○
〃	千石 雅仁	元・東京書籍(株)代表取締役社長	○
〃	鳩 貝 太郎	東京都立大学客員教授・国立教育政策研究所名誉所員	
監事	濱 高 大	市ヶ谷経理税理士法人代表社員	
〃	藤 川 広	大日本図書(株)取締役相談役	
〃	市 川 かおり	(株)教育芸術社代表取締役社長	

*常勤の役員は常務理事のみ。他は非常勤役員。

(注) 任期 辰野 裕一 : 自 平成27年6月18日 至 令和4年6月30日 (辞任)
藤川 広 : 自 令和元年3月17日 至 令和4年12月19日 (辞任)
白間 竜一郎 : 自 令和4年7月1日
市川 かおり : 自 令和5年3月17日

任期

自 令和5年6月20日

至 令和6年度に関する定時評議員会終結時

○印：資金運用委員会委員

役職名	氏名	現職名	資金
理事長	千石雅仁	元・東京書籍㈱代表取締役社長	○
副理事長	清水 潔	弁護士（TMI 総合法律事務所）	○
* 常務理事	白間 竜一郎	（公財）教科書研究センター常務理事（資金運用執行責任者）	○
理事	赤堀 侃司	東京工業大学名誉教授・（一社）ICT CONNECT 21 会長	
〃	天笠 茂	千葉大学名誉教授	
〃	石島 美也子	弁護士（石島法律事務所所長）	
〃	伊東 千尋	教育出版㈱代表取締役社長	
〃	小田 良次	実教出版㈱代表取締役社長	○
〃	岸田 和明	慶應義塾大学文学部教授	
〃	佐々木 秀樹	日本文教出版㈱代表取締役社長	○
〃	鳩貝 太郎	東京都立大学客員教授・国立教育政策研究所名誉所員	
監事	濱高 大	市ヶ谷経理税理士法人代表社員	
〃	市川 かおり	㈱教育芸術社代表取締役社長	

* 常勤の役員は常務理事のみ。他は非常勤役員。

(2) 評議員名簿

任期 { 自 令和元年6月27日
至 令和4年度に関する定時評議員会
(令和5年6月20日) 終結時終結時 }

役職名	氏名	現職名
評議員	天 笠 茂	千葉大学名誉教授
〃	市 川 かおり	(株)教育芸術社代表取締役社長
〃	大 熊 隆 晴	開隆堂出版(株)代表取締役会長
〃	鎌 田 和 宏	帝京大学教育学部教授
〃	北 口 克 彦	(株)三省堂取締役会長
〃	川 又 英 宏	(一社) 全国教科書供給協会会長
〃	佐 藤 諭 史	(株)新興出版社啓林館代表取締役社長
〃	佐 藤 幸 江	放送大学客員教授
〃	澤 田 真 弓	国立特別支援教育総合研究所研修事業部上席総括研究員
〃	島 宮 道 男	元・全国高等学校校長協会会長 (評議員会会長の職務代行者)
〃	鈴 木 一 行	(株)大修館書店代表取締役社長
〃	銭 谷 眞 美	(公財) 新国立劇場運営財団理事長 (評議員会会長)
〃	角 田 元 良	元・全国連合小学校長会会長
〃	二 宮 皓	広島大学名誉教授 (評議員会会長の職務代行者)
〃	野 澤 伸 平	(株)山川出版社代表取締役会長
〃	星 野 泰 也	数研出版(株)代表取締役社長
〃	三 町 章	元・全日本中学校長会会長
〃	吉 田 直 樹	光村図書出版(株)代表取締役社長
〃	吉 水 裕 也	兵庫教育大学理事 (副学長)

(注) 任期 北 口 克 彦 : 自 平成27年6月18日 至 令和4年6月30日 (辞任)
市 川 かおり : 自 令和元年6月27日 至 令和5年3月10日 (辞任)
佐 藤 諭 史 : 自 令和4年7月1日

任期 (自 令和 5 年 6 月 20 日
至 令和 8 年度に関する定時評議員会終結時)

役 職 名	氏 名	現 職 名
評 議 員	大 熊 隆 晴	開隆堂出版(株)代表取締役会長
”	鎌 田 和 宏	帝京大学教育学部教授
”	川 又 英 宏	(一社) 全国教科書供給協会会長
”	小 泉 与 吉	全国連合小学校長会事務局長
”	佐 藤 清	(株)帝国書院代表取締役社長
”	佐 藤 諭 史	(株)新興出版社啓林館代表取締役社長
”	佐 藤 幸 江	放送大学客員教授
”	澤 田 真 弓	星槎大学大学院教授・国立特別支援教育総合研究所客員研究員 (評議員会 会長の職務代行者)
”	鈴 木 一 行	(株)大修館書店代表取締役社長
”	錢 谷 眞 美	(公財) 新国立劇場運営財団理事長 (評議員会会長)
”	野 澤 伸 平	(株)山川出版社代表取締役会長
”	原 富美夫	元・全国市町村教育委員会連合会事務局長
”	富士道 正 尋	全日本中学校長会事務局長
”	星 野 泰 也	数研出版(株)代表取締役社長 (評議員会会長の職務代行者)
”	宮 本 久 也	全国高等学校長協会事務局長
”	吉 田 直 樹	光村図書出版(株)代表取締役社長
”	吉 水 裕 也	兵庫教育大学理事 (副学長)

(3) 調査研究企画委員名簿

任期 (自 令和 4 年 7 月 1 日
至 令和 6 年 6 月 30 日)

役 職 名	氏 名	現 職 名	専 門 分 野
委員長	天 笠 茂	千葉大学名誉教授	学校経営学
副委員長	二 宮 皓	広島大学名誉教授	比較教育
委員	卯 城 祐 司	筑波大学人文社会系教授	外国語教育
〃	岸 田 和 明	慶應義塾大学文学部教授	図書館・情報学
〃	中 川 一 史	放送大学教授	教育工学
〃	長 島 啓 記	早稲田大学名誉教授	比較教育
〃	西 村 圭 一	東京学芸大学教育学部教授	数学教育
〃	鳩 貝 太 郎	東京都立大学客員教授・国立教育政策研究所名誉所員	理科教育
〃	細 野 二 郎	教科書研究センター参与	教科書学
〃	松 本 修	玉川大学教職大学院教授	国語教育
〃	谷田部 玲 生	桐蔭横浜大学法学部教授	社会科教育
〃	山 本 智 子	光村図書出版(株)編集本部本部長	国語
〃	児 島 素 志	教育出版(株)編集局社会科編集長	社会
〃	藤 原 智 志	(株)新興出版社啓林館数学編集部第 1 課課長	算数・数学
〃	中 村 潤	大日本図書(株)編集局小学校理科部長	理科
〃	野 口 敦 史	大日本図書(株)小学校理科部長	理科
〃	太 田 綾 子	大日本図書(株)編集局編集三部中学校理科編集長	理科
〃	榮 彰 子	東京書籍(株)編集局英語編集部長代理中学校英語編集長	英語
〃	倉 本 晴 彦	日本文教出版(株)取締役編集本部長	芸術
〃	山 浦 弘 照	実教出版(株)第一編修部編修第 3 課長	職業

(注) 中 村 潤：令和 4 年 12 月 (辞任)

野 口 敦 史：令和 4 年 12 月 (就任)

野 口 敦 史：令和 5 年 6 月 (辞任)

太 田 綾 子：令和 5 年 7 月 (就任)

(4) 特別研究員名簿

 任期 { 自 令和5年4月1日
 至 令和7年3月31日 }

氏名	現職名	専門分野
安藤 明 伸	広島工業大学情報学部情報コミュニケーション学科教授	技術教育
磯崎 哲 夫	広島大学大学院人間社会科学研究科教授	理科教育 地学
内ノ倉 真 吾	鹿児島大学法文教育学域教育学系准教授	理科教育
*2 大久保 紀一朗	京都教育大学教職キャリア高度化センター講師	教育工学
岡部 恭 幸	神戸大学大学院人間発達環境学研究科教授	数学教育
小田 理 代	麗澤大学准教授	コンピュータサイエンス
鴨川 明 子	早稲田大学教育・総合科学学術院教授	比較教育 東南アジア
小林 祐 紀	放送大学教養学部准教授	教育工学
齊藤 忠 彦	信州大学教育学部教授	音楽教育
*2 佐藤 和 紀	信州大学教育学部准教授	教育工学
佐藤 寿 仁	岩手大学教育学部准教授	数学教育
澤野 由紀子	聖心女子大学現代教養学部教授	比較教育 RUS
金 龍 哲	東京福祉大学教育学部教授	比較教育 CHN
高木 幸 子	新潟大学大学院教育実践学研究科教授	家庭科教育
*2 高橋 純	東京学芸大学教育学部教授	教育工学
辰野 裕 一	元・教科書研究センター常務理事	教育行政学
田中 光 晴	文部科学省総合教育政策局調査企画課外国調査係	比較教育 KOR
*1 中川 哲	株式会社 EdLog 代表取締役社長	教育工学
長島 啓 記	早稲田大学名誉教授	比較教育 DEU
*2 中尾 教 子	神奈川工科大学情報教育研究センター准教授	教育工学
中村 和 弘	東京学芸大学教育学研究科教授	国語教育
丹羽 登	関西学院大学教育学部教授	特別支援教育
藤井 穂 高	筑波大学人間系教育学域教授	比較教育 FRA
藤森 裕 治	文教大学教育学部教授	国語教育
星野 由 子	千葉大学教育学部准教授	英語教育
町田 智 久	国際教養大学専門職大学院英語教育実践領域教授	英語教育
*2 三井 一 希	山梨大学大学院総合研究学部教育学域准教授	教育工学
村井 万寿夫	北陸学院大学人間総合学部教授	教育工学
森 有 希	高知大学大学院総合人間自然科学研究科教授	道德教育
*2 八木澤 史 子	千葉大学教育学部助教	教育工学
山内 敏 男	兵庫教育大学学校教育研究科教授	社会科教育
山田 芳 明	鳴門教育大学大学院学校教育研究科教授	美術科教育
渡邊 あ や	津田塾大学学芸学部教授	比較教育 FIN

*1：研究顧問

*2：連携研究員

2. 職員に関する事項

(1) 事務局職員（非常勤職員を含む。）

氏名	職名	採用年月日	備考
白間 竜一郎	常務理事	令和 3. 7. 1	採用時参与, 令和 4. 7. 1 就任
細野 二郎	参与	平成 29. 7. 1	非常勤職員
勝山 浩司	参与	令和 4. 9. 1	非常勤職員
上口 孝之	事務局長、兼総務部長	令和 元. 6. 1	採用時参与, 令和元 7. 1 昇任
小滝 恵子	総務部庶務主任	平成 21. 4. 1	
平野 佳那子	総務部職員	令和 2. 4. 1	
山下 愛	総務部会計主任	平成 19. 4. 1	
小島 りら	総務部職員	令和 3. 3. 1	
郡山 直子	図書館係長、司書	平成 25. 9. 1	
本間 亜希子	図書館係調査主任、司書	令和 2. 4. 1	

(2) 退職者

細野 二郎 (参与)	令和 6 年 3 月 31 日付け
勝山 浩司 (参与)	令和 6 年 3 月 31 日付け

3. 会議に関する事項

(1) 通常理事会

	開催日時	開催場所	議 題
37 回	5. 6. 1(木) 14 時 00 分～ 15 時 00 分	教科書研究センター	議事 1. 特定費用準備資金の設定について 2. 令和 4 年度事業報告について 3. 令和 4 年度収支決算について 報告事項 1. 職務執行状況報告 (令和 5 年 3 月 17 日～令和 5 年 5 月 31 日) 2. 資金運用状況報告 その他 1. 役員及び評議員の選任等について 2. その他
38 回	5. 10. 16 (月) 14 時 00 分～ 15 時 05 分	教科書研究センター	議事 1. 大学院生の教科書研究論文助成金の審査について 2. 規程の改正について 3. 第 13 回臨時評議員会の開催について 報告事項 1. 国立大学法人大阪教育大学との包括連携協定の締結 2. 今後の事業について 3. 職務執行状況報告 (令和 5 年 6 月 1 日～令和 6 年 10 月 13 日) 4. 資金運用状況報告

39 回	6.3.13 (水) 14時00分～ 15時10分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 若手研究者に対する教科書研究助成の審査について 2. 令和6年度事業計画について 3. 令和6年度収支予算について 4. 令和6年度の資金運用の執行方針及び計画について 5. 令和6年6月定時評議員会の開催について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 職務執行状況報告 (令和5年10月16日～令和6年3月12日) 2. 資金運用状況報告
---------	---------------------------------	-----------	--

(2) 臨時理事会

	開催日時	開催場所	議 題
7 回	5.6.20 (火) 16時00分～ 16時20分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 理事の役職の互選について <p>その他</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金運用委員会委員の指名等について

(3) 定時評議員会

	開催日時	開催場所	議 題
13 回	5.6.20 (火) 15時00分～ 16時00分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 令和4年度事業報告について 2. 令和4年度収支決算について 3. 任期満了による評議員及び役員の改選について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金運用状況報告

(4) 臨時評議員会

	開催日時	開催場所	議 題
12 回	6.3.13 (水) 15時15分～ 16時15分	教科書研究センター	<p>議事</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 評議員会会長の互選について 2. 会長職務代行の指名について 3. 令和6年度事業計画について 4. 令和6年度収支予算について <p>報告事項</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 資金運用状況報告 2. 令和6年6月定時評議員会の開催について

(5) 監査

- 令和4年度業務執行状況監査 令和5年5月24日
- 令和4年度収入支出決算監査 ”
- 令和4年度財産管理状況監査 ”

(6) 各種会議

会 議 名	回数
資金運用委員会	1
調査研究企画委員会	2
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会企画運営部会	1
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会国語部会	1
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会社会科部会	2
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会算数・数学部会	4
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会理科部会	3
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会外国語部会	5
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会道徳部会	3
授業における教科書の使い方に関する調査研究委員会横断部会	1
デジタル教科書に関する調査研究委員会企画運営委員会	1
デジタル教科書に関する調査研究委員会国語部会	1
デジタル教科書に関する調査研究委員会社会科部会	2
デジタル教科書に関する調査研究委員会算数・数学部会	2
デジタル教科書に関する調査研究委員会外国語部会	1
デジタル教科書に関する調査研究委員会プラットフォーム等検討部会	1
デジタル教科書に関する調査研究委員会未来のデジタル教科書検討部会	3
デジタル教科書に関する調査研究委員会音楽ワーキンググループ	2
デジタル教科書に関する調査研究委員会図画工作・美術ワーキンググループ	6
デジタル教科書に関する調査研究委員会家庭、技術・家庭ワーキンググループ	2
附属教科書図書館の今後の在り方に関する検討委員会	3

4. 契約に関する事項

- 建物管理委託（整備、清掃、設備点検等）
- 空調設備機器保守
- 昇降機保守
- その他、電話機、複合機等、パソコン等のリース契約を行っている。